

南城市教育委員会 教育指導課	連絡先 TEL : 098-917-5364 kyouikushidou@city.nanjo.okinawa.jp
-----------------------	---

1 実践事項

「積極的に他者と関わり，相手と自分の地域や国の特色を知り，考えや気持ちを伝え合い友好な関係を作ろうとする生徒」の育成
 ～「言語活動をとおして学ぶ」授業改善を通して～

2 実践内容

(1) 目的

「南城市小中学校外国語担当者研修会」「中学校研修の日」に自主研修を行うとともに文部科学省外国語調査官や本市外国語教育アドバイザーを招聘し，講話や演習を通して，学習指導要領で求められている言語活動や評価等について学び，小中連携で外国語の授業づくりの充実に資する。

(2) 計画

- | | |
|----------------|-------------------------|
| ①小中外国語担当者研修会 | ⑥オンライン英会話（スパトレ株式会社） |
| ②校区内授業参観（小中連携） | ⑦ AI 英会話ドリル（Terra Talk） |
| ③中学校研修の日 | ⑧ CAN-DO リスト形式での到達度目標作成 |
| ④調査官招聘授業研修会 | ⑨他地区との交流授業，外国からのゲストとの授業 |
| ⑤ ALT ミーティング | |

3 実践・説明資料

(1) 小中外国語担当者研修会 大城賢氏に本市外国語教育アドバイザーを依頼しご指導を賜った。

第1回	5月25日（木）	令和5年度の南城市外国語教育について
第2回	9月26日（火）	大城賢氏（琉球大学名誉教授）による講話 言語活動を深掘りしよう ～理屈がわかれば網大丈夫～
第3回	2月2日（金）	小中連携 中学区内小学校との協働授業計画
第4回	3月1日（金）	校区内授業の振り返りと次年度に向けて 大城賢氏による助言とワークショップ

第2回 大城賢氏による講話振り返りより

①講話から学んだこと（感想等）

○初めて外国語担当になり不安なこともたくさんありますが，今日講話を受けて「チャレンジさせて達成感を与える」という言葉から児童と共に学んでいくことも大切だと感じました。小学校では慣れ親しんでもらうことが大切なので楽しく，笑顔でコミュニケーションとりながら授業をしていきたいです。言語活動において目的・場面・状況を設定し取り組んでいく事を意識したいと思いました。



○中間指導に関し、言語習得ではどんどん使い、間違いながら言葉を覚えていくように、何度も Try and Error を繰り返し、言語活動を通し適切な指導を行いながら、そこから習得に結びつけていくことで長期記憶に繋がっていくと考えます。しっかりと場面設定を行い今後の指導に活かしていきます。

②今回の研修を受けて、自校においてどのような実践をしてみたいですか？

- 一昨年は5年生、去年は3年生、今年は持ち上がりの4年生で系統が見えながら授業を行っています。子供達の実態も受け止めながら、コミュニケーションを大事にした授業を行いたい。相手意識というキーワードが今日の講話ですごく印象的です。
- 今年度は、全学年目的・状況・場面を必ず設定し、それらがある上での言語活動の場を与える事を意識しております。思考・判断・表現の授業は、より深い目的・場面・状況を設定することで、生徒に文法や表現を使わせる意味を理解させることができると感じましたので、これからの program でも設定していきます。
- 小学校から実践していることを繰り返し継続していことを心がけていきたい。また、常に目的、場面、状況を考えた指導をしていきたい。

(2) 校区内小中連携授業参観

☆は調査官招聘授業を行った学校

	実施校 (代表授業◎)	実施日 (時間)	実施校 (代表授業◎)	実施日 (時間)
1	玉城中学校	9月25日(月) 13:45 ~ 14:35	船越小学校 玉城小学校 百名小学校	10月12日(木) 14:20 ~ 15:05 ※中学校研修の日を活用
2	知念中学校 ☆R4	9月4日(月) 13:35 ~ 14:25	知念小学校	12月4日(月) 10月12日(木) 14:20 ~ 15:05 ※中学校研修の日を活用
3	久高中学校	11月30日(木) 予定 9:35 ~ 10:25	久高小学校	11月30日(木) 8:40 ~ 9:25
4	佐敷中学校 ☆R5	6月9日(金) 1年4組 2校時 9:50 ~ 10:40 12月12日(火) 3年2組 13:50 ~ 14:40	佐敷小学校 馬天小学校	12月8日(金) 13:25 ~ 14:10 10月2日(月) 9:40 ~ 10:25
5	大里中学校	第1案10月26日(木) 11:50 ~ 12:40	大里北小学校 ☆R1 大里南小学校 ☆R2	9月22日(金) 5校時 13:40 ~ 14:25 10月12日(木) 6校時 14:50 ~ 15:35 ※中学校研修の日を活用

①玉城中学校区



②知念中学校区



③久高小中学校



④佐敷中学校区



⑤大里中学校区



義務教育課の『「問い」が生まれる授業のポイント（外国語）』をもとに作成した「授業参観シート」を活用し、授業の視点を合わせて授業や参観を行った。外国語教育アドバイザーもほぼ毎回授業参観なさり振り返りで「言語活動を通して学ぶ」授業についてご助言を下された。

（3）中学校研修の日

第1回	6月 8日（木）	授業でのGoogleアプリケーション活用方法
第2回	7月13日（木）	I C T機器を活用した授業実践の紹介(各校より)
第3回	10月12日（木）	中学校区小学校への授業参観

（4）調査官招聘授業研修会

<研究授業>

日 時：令和5年12月12日（火）13時50分～

場 所：南城市立佐敷中学校

学 級：3年2組

授業者：T1 仲里 聖子 教諭 T2 Thao La Vang

1. 単元名 Program 6 The Great Pacific Garbage Patch SUNSHINE ENGLISH COURSE p.75~p.84

2. 単元の目標

南城市の魅力を伝え、その魅力を持続可能なものにするために、客観的な事実や根拠をもとに自分の考えや感じたこと、理由などを整理し、簡単な 語句や文を用いて分かりやすく述べる。（単元終末に豊見城市立伊良波中学校の3年生とオンラインで行う）

3. 本時の学習【 4/11 時間】

(1) 目標

南城市の魅力とその魅力を持続可能なものにするために、客観的な事実や根拠を基に自分の考えや感じたこと、理由などを整理し、簡単な語句や文を用いて分かりやすく話す。

(2) 本時の授業の工夫

- ①聞き手に伝わるような発表を行う。
- ②聞き手は相手が一番伝えたいことを聞き取り、質問を行う。
- ③友達からの質問について答えることによって自分の考えを深める。



伝わるように話す



話し手と聞き手のやり取り



練習の成果をプレゼン

佐敷中学校は全校体制で「言語活動を通して」学ぶ授業を実施。4月の全国学力テストの話すこと調査は全国平均を上回った。10月の英検 IBA でも3年生は高得点。

<授業研究会>

講師 文部科学省 初等中等教育局 外国語教育推進室 教科調査官
国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部

教育課程調査官 入之内 昌徳 氏（英語）

演題 学習指導要領の趣旨を踏まえた中学校外国語科の指導の改善・充実
～コミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指して～



<振り返りより>

①公開授業を参観して

○学級の雰囲気が大切だということ、苦手でも話したい子が育っていることが凄いと思いました。相手に応じて、確認しながらプレゼンしている子がいたので、素晴らしいと感じました。

○全員が表現を話している姿を見て、意欲や学力が低い生徒がいらないのでは！？と感じるほど、全員が自信を持ってペアと発表し合っている雰囲気に驚きました。魅力的な課題や仕掛けをすることで、自分の思いなどを伝えたいと思うんだなと感じました。ICT を有効に活用したり、電子黒板で共有していたりと参考になる手立てがたくさんありました。

②研修会を通して

- 小学校でやってきたことが中学校でも活かされていることを改めて思いました。授業や単元のゴールの設定をしっかりすることの大切さを学ぶことができました。
- 子供の伝えたいと思う事を題材設定することでもっと意欲的に学習ができるとわかった。目的、場面状況の設定をしっかり考えて今後の授業改善にいかしたいと思いました。
- 小中連携の重要性を強く感じました。小学校で取り組んできたことや積みあげてきたことなどを中学校でしっかりと伸ばして活かしてあげられるように、学習指導要領を読み込み、小中連携に力を入れて取り組んでいきたいと思ひます。

(5) オンライン英会話（スパトレ株式会社による）

1人1台端末を活用し、生徒と外国人講師が1対1で25分間オンライン英会話を行う。本年度は経済産業省の補助事業を受けて小学校3校がスパトレ株式会社のプログラムを9月後半から12月まで受講。市内中学校は、全校全学年1人3回実施の機会を設定した。授業で習ったことを発揮する機会に児童生徒は集中して取り組み、回を重ねるごとに聞き取れるようになり、発話が増えたと成長を感じている。

※今年度実施校

小学校：知念小学校、佐敷小学校、馬天小学校



佐敷小学校



馬天小学校



知念小学校



玉城中学校



知念中学校



佐敷中学校

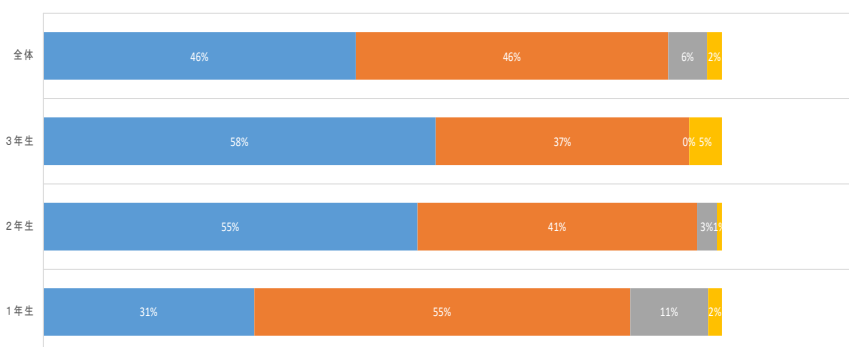


大里中学校

～生徒の声～

オンライン英会話ではこれまでの授業で学んだことが役に立ちましたか

■①とてもそう思う ■②少しそう思う ■③あまりそう思わない ■④そう思わない



久高中学校

12月現在 2回目のオンライン英会話実施生徒の回答

- ・外国人と話せる唯一の機会だから楽しい。
- ・英語の授業を真面目に受けて、家でも英語の勉強をする。
- ・毎日の授業で学んだ新しい表現をいつでも使えるように復習する。
- ・Thank you so much today. Moochie is delicious. So, please try it. (文化紹介：講師へ伝えたいこと)
- ・先生がとても優しく分からなくて止まっても教えてくれて楽しく英語を喋ることができた。
- ・聞いたり話したりすることが前よりもできた

(5) AI 英会話ドリル (ジョイズ株式会社による)

経済産業省の「探求的な学び」プログラムを小学校3年生から中学校3年生まで、教科書準拠の教材を9月後半から12月28日まで活用した。アプリでいつでもどこでも何度でも使えるため、学校の休み時間や家庭で土日の活用もあった。

(6) ALT ミーティング 「言語活動を通して学ぶ」授業について授業参観と研修会 (佐敷中にて)



ALT 達と Small Talk



自分の考えを伝える

小学校担当の ALT が中学3年生になるとこんなに話せると驚き感動した。小学校外国語活動と外国語でやることを再確認

(7) 外国からの留学生やゲストを迎えての授業・他市町村の児童生徒とオンライン授業



スイスからのゲストと交流 (佐敷小学校)



オランダのゲストと授業 (大里南小学校) ↑



佐敷小学校と南風原小学校 (自己紹介)



佐敷中学校と伊良波中学校 (故郷の魅力を伝える)



初めて会う相手であったが、話を聞き取り習った単語や表現を用いて積極的に話しかけていた。中学生は、画面共有で互いの地域の特色や魅力を伝え合い、質問していた。

4 成果

- 外国語教育アドバイザーの大城氏を招聘し小中外国語担当者研修会，校区内小中連携授業参観と振り返りでご助言を頂き，学習指導要領の趣旨に沿った授業を意識した授業が増えてきた。『言語活動は「実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う」などの活動を基本とする。』（大城賢氏，小中外国語担当者研修会講話資料令和5年9月26日）のとらえも少しずつ広がった。
- 調査官招聘授業を受け，授業者の仲里教諭は佐敷中学校の「言語活動を通して学ぶ」授業を引き継ぎ，年度当初から生徒が相手意識をもって自分の思いや考えを発話する機会を設けた。十分な発話の機会を設けたので「聞く，読む，書く」の技能もついた。その授業での生徒の発話力見て，研修会で講話を聴き市内教師が授業改善の大切さを意識した。
- 校区内小中連携授業，調査官招聘授業を通して，小学校は中学校での学びを意識し，中学校は小学校で学んだことを把握でき，系統立てたなめらかな接続を考えるようになった。
- オンライン英会話を通して，習ったことが通じる喜びや表現できなかったことを次は伝えられるよう日々の授業を頑張りたいと，児童生徒の外国語学習への意欲につながった。
- AI 英会話ドリルを活用して，会話や文の組み立ての練習，英検対策を平日や休日の時間を利用して自主的に行う児童生徒が増えてきた。
- 海外からのゲストの授業や市外の小中学生とタブレットでつながり相手意識をもってやり取りする場面を設けたことで，アドバイザーの大城氏の「使いながら学ぶ，学びながら使う」の実践につながった。

5 課題

- 小中外国語担当者研修会や調査官招聘授業は担当者が参加するため，勤務校にて全員に浸透するのは時間がかかる。
- 校区内連携授業参観は時間を見出して行っているのですが，昨年よりは授業後の振り返りの時間を持つことはできたが，まだ全ての学校が持つことはできない。振り返りシートで助言を伝えた。
- 調査官招聘授業の取組は，毎年児童生徒の英語学習への意欲が上がり効果的であるので，今後は積極的に授業者を申し出る雰囲気作りが必要がある。
- 授業内の言語活動やオンライン英会話において，伝えたかったが伝えることができなかった児童生徒が次に向けて意欲的に取り組めるよう支援方法を考える。
- オンライン英会話やAI 英会話ドリルはその時間が効果的に実施できるよう，授業で導入として使う，単元終末の発展として使う等目的をもって普段の授業に位置付ける。
(上述のように活用している学校も多い)